

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和6年10月23日

枚方市立樟葉小学校

文部科学省が今年4月に実施した、令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について、本校の学力や学習の状況を保護者の皆様にお知らせします。結果によると、児童（生徒）の生活習慣と学力には相関関係があることから、引き続き、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

※調査結果について

教科や出題範囲が限られていることから、全国学力・学習状況調査により測定できるのは、学力の特定の一部分です。

学力調査の結果

学力調査結果の中から、本校と全国の平均正答率（対全国比）をお知らせします。

| | | |
|------------------------|---------------------|----|
| 令和6年度 平均正答率 対全国比 | 国語 | 数学 |
| | 保護者の皆さまにはお知らせしております | |

<学力調査結果の概要>

○国語について

| 問題 | 問題の概要 | 出題の趣旨 | | 正答率 | 無回答率 |
|-----------|--|--|----|------|------|
| 2二 | 【高山さんの文章】の空欄に入る内容を、【高山さんの取材メモ】を基にして書く | 目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる | 本校 | 60.3 | 1.7 |
| | | | 全国 | 56.6 | 4.9 |
| 3一 | 【物語】の一文の中の「かがやいています」の主語として適切なものを選択する | 文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる | 本校 | 70.2 | 0.8 |
| | | | 全国 | 62.3 | 2.0 |
| 3二 (1) | 「オニグモいさん」が「ハエの女の子」にどのように話しかけていると考えられるところとして、適切なものを選択する | 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる | 本校 | 77.7 | 2.5 |
| | | | 全国 | 66.9 | 2.6 |
| 3二 (2) | 【話し合いの様子】で、原さんが【物語】の何に着眼したのかについて説明したものと、適切なものを選択する | 人物像を具体的に想像することができるかどうかをみる | 本校 | 74.4 | 2.5 |
| | | | 全国 | 72.6 | 2.9 |
| 3三 | 【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く | 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる | 本校 | 80.2 | 8.3 |
| | | | 全国 | 72.6 | 12.6 |
| 3四 | 【原さんの読書の記録】の空欄に入る内容として適切なものを選択する | 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付くことができるかどうかをみる | 本校 | 83.5 | 6.6 |
| | | | 全国 | 74.6 | 7.6 |

○算数【数学】について

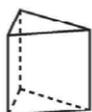
| → 分類 | 区分 | 対象問題数 (問) | 平均正答率(%) | | |
|-----------|---------------|--------------|----------|---------|--------|
| | | | 貴校 | 大阪府(公立) | 全国(公立) |
| | 全体 | 16 | 73 | 63 | 63.4 |
| 学習指導要領の領域 | A 数と計算 | 6 | 76.6 | 65.3 | 66.0 |
| | B 図形 | 4 | 73.1 | 65.2 | 66.3 |
| | C 測定 | 0 | | | |
| | C 変化と関係 | 3 | 63.1 | 50.9 | 51.7 |
| | D データの活用 | 4 | 71.9 | 60.9 | 61.8 |
| 評価の観点 | 知識・技能 | 9 | 79.9 | 71.9 | 72.8 |
| | 思考・判断・表現 | 7 | 63.6 | 50.5 | 51.4 |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | 0 | | | |
| 問題形式 | 選択式 | 5 | 81.0 | 74.5 | 75.3 |
| | 短答式 | 7 | 71.9 | 61.2 | 62.0 |
| | 記述式 | 4 | 64.0 | 50.1 | 51.0 |

ほとんどの問題において、正答数が、全国平均よりも10ポイント程度上回っており、事象を数理的に捉え、数学の問題を見出し、解決できる力が身につけているといえる。

算数(数学)科において成果があった設問

【成果が見られた設問】

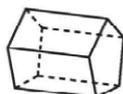
(4) ことねさんたちは、角柱の面の数について考えています。



三角柱



四角柱



五角柱



三角柱の面は5つです。三角柱には、底面が2つ、側面が3つあるからです。



四角柱の面は6つです。



五角柱の面はいくつかな。

五角柱の面はいくつですか。答えを書きましょう。

また、そのわけを、底面と側面がそれぞれいくつあるのかわかるようにして、言葉と数を使って書きましょう。

そのとき、「底面」、「側面」の2つの言葉を使いましょう。

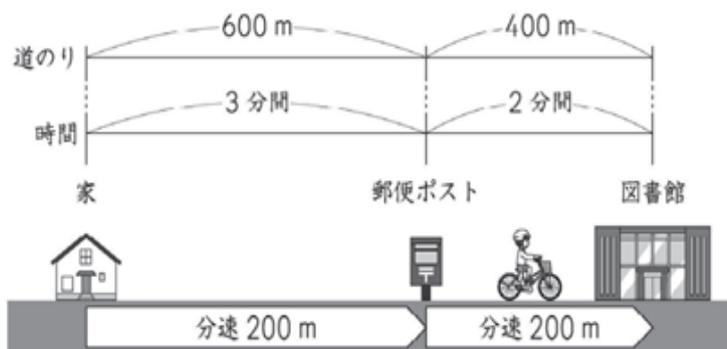
〈成果〉

この問題は、**角柱の底面に着目し、角柱の面の数とその理由を言葉と数、また条件に与えられた言葉を適切に用いて、記述できるかどうかを見る問題**である。本校の正答率は、83.5ポイントであった。

今まで、記述式の問題で、条件のある問題について課題が見られたが、校内研究を中心に「表現」をテーマに研究を行い、文章を書く、言葉で表すことを実践してきたため、一定の効果があつたとみられる。

【課題が見られた設問】

(4) たけるさんは自転車^{ちうせんしゃ}で、家から郵便ポストの前を通って図書館まで行きました。家から図書館まで、5分間かかりました。



家から郵便ポストまでは、道のりは600mで、3分間かかり、速さは分速200mでした。

郵便ポストから図書館までは、道のりは400mで、2分間かかり、速さは分速200mでした。

家から図書館までの自転車の速さは、分速何mですか。

答えを書きましょう。

〈課題〉

この問題は、**日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二量の割合として捉えられる数量の関係について考察できるかどうかをみる問題**

である。(4)では、正答率が65.3ポイントと全体に低く、400と誤って解答している児童が10.7ポイントおり、分速200mどうしを足していると考えられる。

速さの意味について理解することに課題があると考えられる。

質問紙調査の結果

※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。

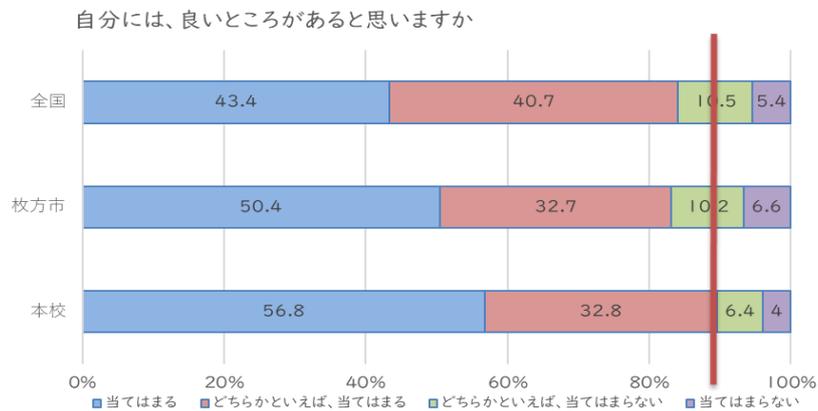
※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。

※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合もあります。

【学校教育目標】個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実～自立する力と持続可能な社会を想像し創造する力の育成～

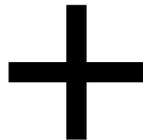
【成果が見られた項目①】

〈1〉質問内容：自分には、良いところがあると思いますか



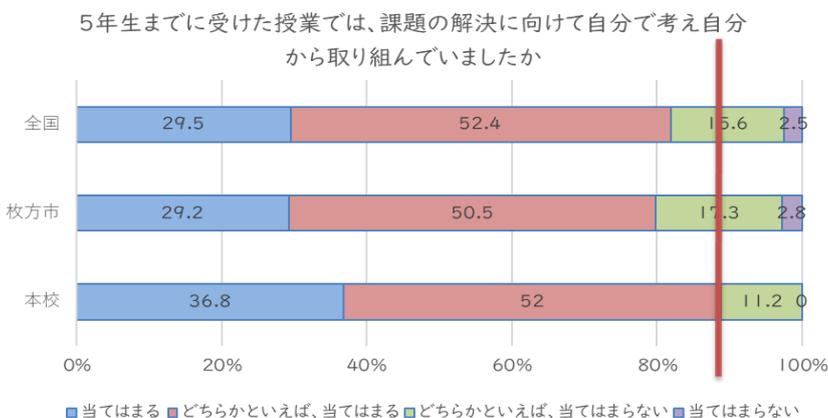
(考察)

約90%の児童が、「自分には、良いところがある。」と認識しており、自己存在感、自己有用感を持っていることがわかります。本校のめざす学校教育目標の達成に向けて、子どもたちがつける力の根底になるものだと考えています。



相関関係

〈2〉質問内容：5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて自分で考え自分から取り組んでいましたか



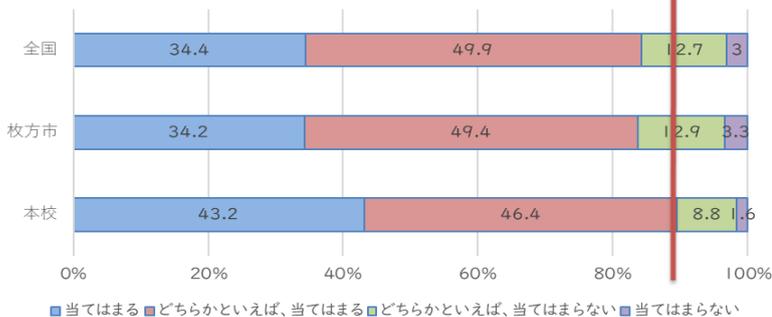
(考察)

約90%の児童が、「課題の解決に向けて自分から取り組んだ。」と認識しています。〈1〉「自分にはよいところがある。」という気持ちから、課題に向き合える探求心や粘り強さが生まれると考えられるとともに、本校の取組「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」をふまえた学びから、子どもたちの「自己決定」や「自己存在感」そして「共感的な人間関係」が育まれるのだとも考えます。

【成果が見られた項目②】

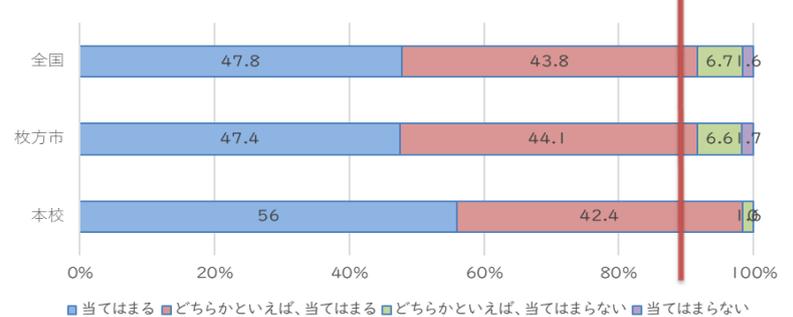
〈3〉質問内容:5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか

5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか



〈4〉質問内容:授業や学校生活では、友達や周りの考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。

授業や学校生活では、友達や周りの考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。



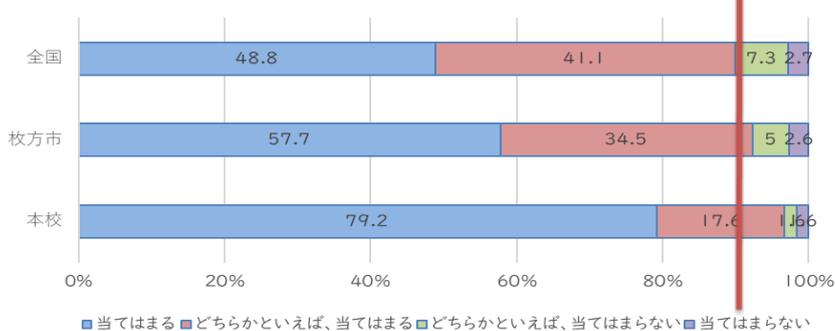
(考察)

〈3〉については、**約90%の児童**が、〈4〉については、**約98%の児童**が、肯定的回答をしている結果から「**個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実**」の達成に向けた取組が進んでいると考えています。今後とも、子ども一人一人の教育的ニーズを把握しながら、協働し、課題解決していく学びを進めていきます。

【成果が見られた項目③】

〈3〉質問内容:先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

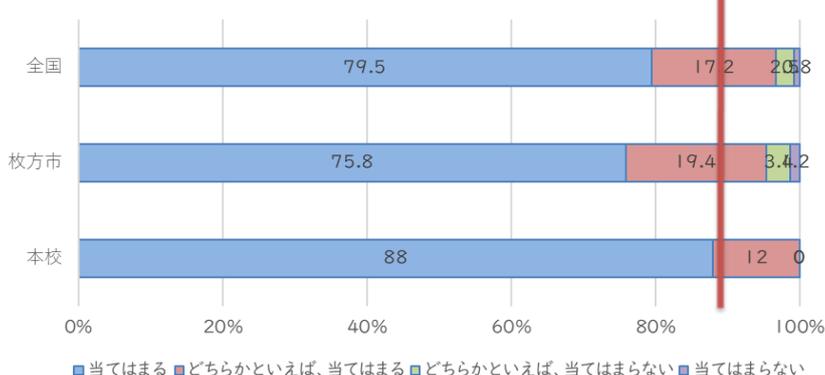


(考察)

約97%の児童が肯定的回答をしています。
 「自己存在感の感受」
 「共感的な人間関係の育成」
 「自己決定の場の提供」
 「安全・安心な風土の醸成」
 を入れた授業づくり、学級経営に取り組んでいる成果の一つだと考えます。

〈4〉質問内容:いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

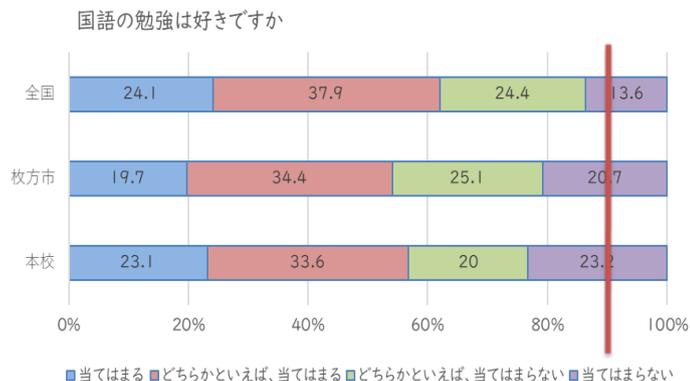


(考察)

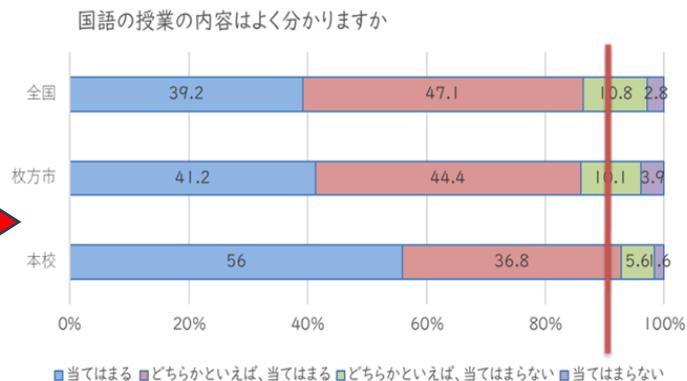
100%の児童が肯定的回答をしています。
 本校の重点項目「いじめ対応の徹底」に相対した結果として、子どもたちの認識にうれしく思うとともに、今後とも、いじめ認知を進め、いじめ対応の徹底をさらに進めます。

【課題が見られた項目】

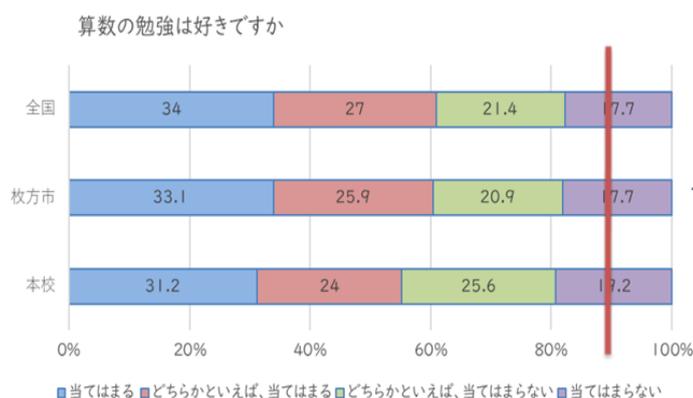
質問内容：国語の勉強は好きですか



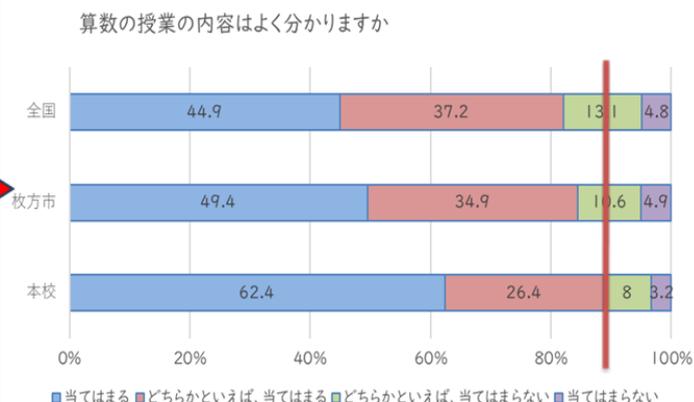
質問内容：国語の授業の内容はよく分かりますか



質問内容：算数の勉強は好きですか



質問内容：算数の授業の内容はよく分かりますか



(考察)

「国語の勉強は好きですか」の肯定的回答をした児童は、約57%と**全国比率より下回り**、「当てはまらない」と回答した児童は、約23%と**全国、枚方市より上回り**ました。その反面、「国語の授業の内容はよく分かる」に肯定的回答をした児童は、**約93%**と、**全国より約7ポイント、枚方市より約7ポイント上回り**ました。

「算数の勉強は好きですか」の肯定的回答をした児童は、約55%と**全国より約-6ポイント、枚方市より約-4ポイント**と下回りました。また、「算数の授業の内容はよく分かる」に肯定的回答をした児童は、**約89%**と**全国より約7ポイント、枚方市より約5ポイント上回り**ました。

算数、国語の正答率対全国比においては、全国を上回っていることも含めると、算数、国語の授業の内容はよく分かり、成果もあげることができると、算数、国語の勉強は好きではないという結果になります。このことから、算数と国語の勉強は、「**しなくてはいけないこと**」であり「**成果をだすこと**」が、**重要**だと考えている傾向があることが考察されます。

これからは、「**個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実**」をさらに進めるとともに、子どもが、**問いを見つけ、より主体的に学ぶ授業づくり**の取組を図ることが大切だと考えられます。

分析結果を踏まえて取り組んでいくこと

(1) 授業改善について

樟葉小学校の子どもたちは、学力が高く、自己肯定感も高いという結果となりました。子ども一人一人が生き生きと学べるよう、本校の学校教育目標である「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」の達成に向けた取組を、これからも、引き続き進めてまいります。

その上で、見えてきた課題『「算数・国語の勉強が好き」という肯定回答率が低い』ということから、子どもたちが「**問いを見つける**」「**主体的な**」「**楽しい**」授業づくりへ、ベクトルを合わせ、「**もっと知りたい**」「**誰かに説明したくなる**」「**やってみたい**」と思えるような学びになるよう取組を図ってまいります。

(2) 家庭学習について

樟葉小学校の子どもたちの勤勉さや学力の確かな定着、自分を大切に思う心など、学校教育活動だけではなく、何より、保護者の皆さまが、ご家庭において、教育や育児など熱心に取り組まれている賜物だと感謝しております。

子どもたちにとって、これから必要な家庭学習のあり方は、従来のあり方の良さとともに、自分に必要な学びを「**自主的**」に、「**計画的**」に進めていくことや、「**探求型学習**」を取り入れていくことが検討されます。

子どもたちの放課後の過ごし方の多様化とともに、この度の「令和6年度 全国学力・学習状況調査」の結果を踏まえ、発達段階や、個別の教育的ニーズに沿った、より良い家庭学習ができるよう、取り組めますので、これからも、ご家庭におけるお子様の学びへのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。